

# シンポジウム

## 極限環境下での凝縮系物質の 原子レベル構造とマクロな挙動

**入場無料**  
どなたでも気軽に  
ご参加下さい。

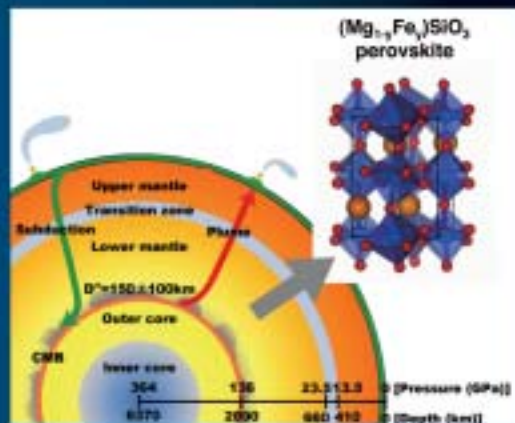
日時：2006年1月11、12日 (AM9:00~PM5:00)

場所：熊大工学部100年記念館

懇親会：1月11日、18時からKKR熊本にて  
(参加希望者は連絡を下さい)

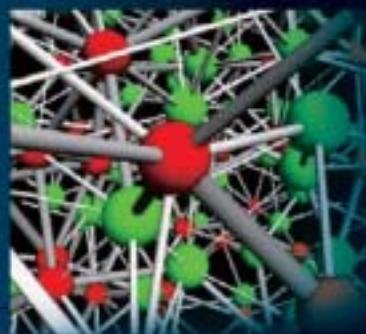
### 講演：1月11日(水)

- 吉朝 朗 (熊本大)：イオン伝導体・融体の局所構造と地球活動
- 河村 純一 (東北大)：リチウム電池・燃料電池におけるイオン伝導体
- 小林 迪助 (新潟大)：リチウム超イオン導電体(LaLi)TiO<sub>3</sub>の物性研究
- 安仁屋 勝 (熊本大)：超イオン導電ガラスの構造と物性
- 臼杵 毅 (山形大)：カルコゲナイドおよびカルコハライドガラスの機能とネットワーク構造
- 丸山 健二 (新潟大)：中性子を用いたカルコゲン混合融体の構造解析
- 片山 芳則 (日本原子力研究開発機構)：高压融体の構造変化—リンと水
- 田中 啓司 (北海道大)：相変化メモリー(DVD)の極限特性
- 福岡 浩司 (同志社大)：磁性鉱物のマイクロ磁気モデリング
- 土屋 卓久 (愛媛大)：地球深部でのスピントロニクスオーバー転移
- 常行 真司 (東京大)：シミュレーションの限界について



### 講演：1月12日(木)

- 田中 雅彦 (Spring-8)：放射光ガンドルフィカメラによる惑星物質の鉱物相定量と結晶学的データ
- 福井 宏之 (岡山大)：放射光を利用した高压下での格子振動解析
- 大高 理 (大阪大)：高压下における融体・ガラスの局所構造変化
- 有馬 寛
- 乾 雅祝 (広島大)：放射光を利用した超臨界金属流体の静的・動的構造研究
- 服部 高典 (日本原子力研究開発機構)：四配位共有結合性物質の液体の圧力誘起構造変化
- 杉山 和正 (東京大)：RMC・異常散乱法による金属複雑構造中の原子クラスター
- 川北 至信 (九州大)：熔融貴金属ハライドの構造とダイナミクス
- 武田 信一 (九州大)：貴金属-IV属合金液体の共晶組成近傍の局所構造
- 星野 公三 (広島大)：高温・高压下における液体カーボンの圧力誘起構造変化
- 下條 冬樹 (熊本大)：高压融体の第一原理シミュレーション
- 多々良 源 (首都大)：ナノスピントロニクス(スピントロニクス)の理論
- 嶋川 晃一 (岐阜大)：アモルファスセレンにおけるナノスケール光誘起構造変化：その場観察とコンピュータシミュレーション



### ポスターセッション：1月11日・12日 (AM11:30~PM1:00)

#### ◎参加学生の研究成果報告

#### ■主催／熊本大学拠点形成グループ(B)

(代表 吉朝 朗、安仁屋 勝、下條 冬樹、西山 忠男)

■後援／日本結晶学会、日本鉱物学会、固体イオニクス学会(一部処理中)

【問い合わせ先】吉朝 朗 〒860-8555 熊本市黒髪2-39-1 熊本大学理学部理学科  
電話：096-342-3415 e-mail:yoshiasa@sci.kumamoto-u.ac.jp

